

第35期 中間報告書

平成25年4月1日から
平成25年9月30日まで

(証券コード 9697)

株式会社 **カプコン**



逆転裁判5



辻本 憲三

辻本 春弘

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第35期上半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、堅調な個人消費や輸出に加え、雇用・所得環境の改善や株高のほか、「2020年東京五輪開催」決定の追い風もあって、景気は回復軌道に乗ってまいりました。

当業界におきましては、家庭用ゲーム市場は据置型次世代ゲーム機が年度内に出揃うことを見据えてパッケージソフトが伸び悩み、端境期を迎えました。

一方、ソーシャルゲーム市場は、プラットフォームの主流が

フィーチャーフォン(従来型携帯電話)からスマートフォン(高性能携帯電話)に移行する中、ネイティブアプリゲームが急伸びいたしました。加えて、タブレット(多機能携帯端末)の普及や無料通話・無料メールアプリのLINEの台頭により存在感がますます高まるなど、事業構造の多極化が進み、市場環境は急速に変化してまいりました。

こうした状況下、当社は開発費の抑制等を図るため、海外を中心に開発委託の削減を漸進させるなど、内作比率を高めることにより収益力の向上に努めました。

また、競争力の源泉である開発体制において、部分最適から全体最適を図るため、社内横断的な組織改革により指揮命令系統や責任の明確化を行うとともに、開発プロセスや収益管理の改善に取り組んでまいりました。

さらに、ネットワーク市場の拡大に対応するため、「カプコン・ネットワークゲームカンファレンス」において、「モンスターハンター フロンティア G」(プレイステーション 3、Wii U用)など、今後投入予定のオンラインゲーム14タイトルの発表を行うなど、成長分野へ注力する意気込みを示しました。

他方、斯界で権威がある「ファミ通アワード2012」において、3年連続して「最優秀ゲームメーカー賞」を受賞しました。

なお、当社は社会貢献活動(CSR)の一環として、ゲーム会社の仕事などを紹介するため、全国の小・中学校を中心に出向いて講義を行う「出前授業」を進めたことにより、地道な活動ながら関係者の耳目を集めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高532億

34百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益75億9百万円(前年同期比15.2%増)、経常利益81億90百万円(前年同期比34.8%増)、中間純利益49億50百万円(前年同期比20.0%増)となりました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、家庭用ゲーム市場は新世代機の登場も重なって、最大の需要期であるクリスマス商戦が活発化するなど、年末から年始にかけて市場が活気づくことも予想されます。

他方、参入障壁が低いソーシャルゲーム市場の勢力拡大に伴い、国内市場は二極構造が鮮明になり大きな転換期を迎えておりますが、双方の相乗作用によりユーザー層の裾野が広がるなど、全体の市場規模は膨らむものと思われれます。

企業を取り巻く環境が激変する情勢の中、収益構造や事業モデルの見直しが迫られておりますが、当社といたしましては、経営資源の選択と集中により重点部門、成長分野への投資や利益の源泉である事業ポートフォリオの組み直しなど、臨機応変の機動的なハイブリッド経営によりグループ全体の企業価値を高めてまいります。

このため、持続的成長が見込まれるモバイルコンテンツやPCオンラインゲームに傾注するほか、ダウンロード配信の強化や人気ソフトを活用したコラボレーション戦略を推し進めるなど、市場環境の変化に即応した事業展開を図ってまいります。

また、看板タイトルとの好循環により着実に収益源に育ってまいりましたパチスロ機事業の強化を目指して、開発スタッフを拡充することに加え、毎年複数機種の自社筐体を投入するなど、顧客満足度の向上により商機の拡大に注力してまいります。

加えて、海外市場における成長シナリオの推進に向けて全体のベクトルを合わせるため、欧米現地法人において、開発、マーケティングおよびプロモーション各部門が三位一体となったグループ展開により収益力アップに取り組んでまいります。

下期は、海外に照準を合わせた「デッドライジング3」(Xbox One用)や新作ソフト「ガイストクラッシャー」(ニンテンドー3DS用)を発売するほか、「戦国BASARA4」(プレイステーション 3用)などの投入により、計画達成に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月

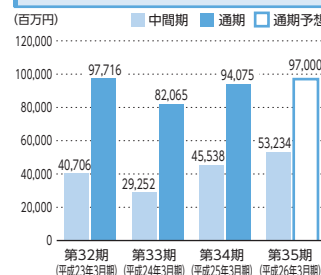
代表取締役会長
最高経営責任者(CEO)

辻本 憲三

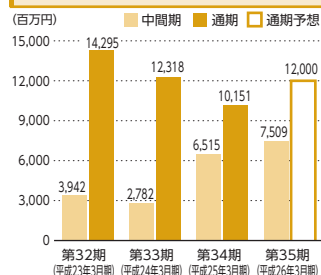
代表取締役社長
最高執行責任者(COO)

辻本 春弘

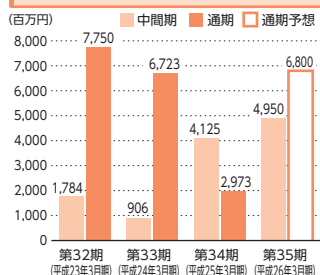
連結売上高



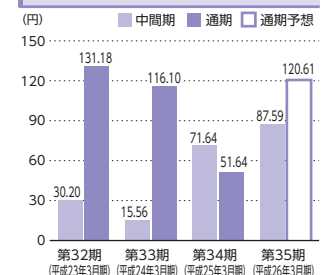
連結営業利益



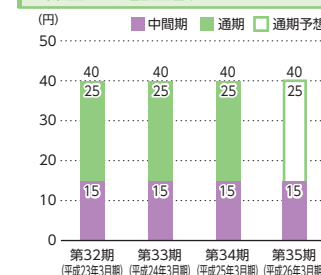
連結中間(当期)純利益



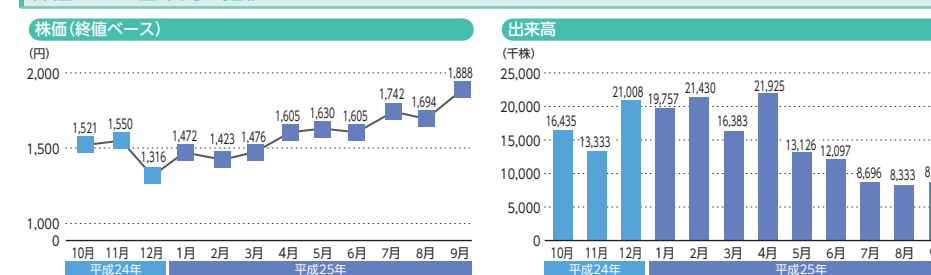
連結1株当たり中間(当期)純利益



1株当たり配当額



株価および出来高の推移



財務ハイライト
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報
会社データ

●デジタルコンテンツ部門

目玉タイトル「モンスターハンター4」(ニンテンドー3DS用)が安定したファン層により9月14日の発売後忽ち出荷本数が200万本を超える大ヒットを放ったことに加え、「ドラゴンズドグマ:ダークアリズン」(プレイステーション 3、Xbox 360用)も順調に進捗したほか、「バイオハザード リベレーションズ アンベールド エディション」(プレイステーション 3、Xbox 360、Wii U、パソコン用)や「逆転裁判5」(ニンテンドー3DS用)もおおむね計画どおり推移いたしました。

一方、海外をターゲットにした「ロスト プラネット 3」(プレイステーション 3、Xbox 360、パソコン用)は、欧米市場の伸び悩みや競争の激化などもあって、苦戦を強いられました。

他方、オンラインゲームの「モンスターハンター フロンティア G」(パソコン、Xbox 360用)が健闘したことに加え、事業領域の拡大を図るため、台湾においてブラウザゲーム「鬼武者Soul」の配信を開始したところ、人気ランキング1位となるなど脚光を浴び、昨年

設立した現地法人の足場固めの端緒を開きました。

また、ビーラインブランドの旗艦タイトルである「スマーフ・ビレッジ」も息の長い人気により安定した収入を得ることができました。

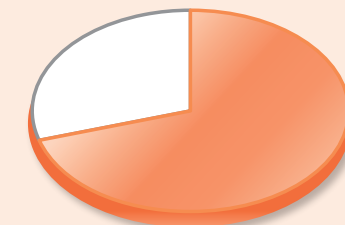
しかしながら、モバイルコンテンツは、有力タイトルの不在や熾烈な競争環境もあって精彩を欠き、軟調に終始いたしました。

この結果、売上高は375億10百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益53億80百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

売上高構成比

平成25年9月期

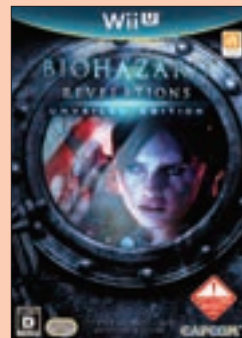
70.4%



「モンスターハンター4」
(ニンテンドー3DS用)



「ドラゴンズドグマ:ダークアリズン」
(プレイステーション 3、Xbox 360用)



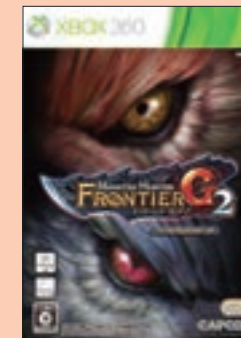
「バイオハザード リベレーションズ
アンベールド エディション」
(プレイステーション 3、Xbox 360、Wii U、パソコン用)



「逆転裁判5」
(ニンテンドー3DS用)



「ロスト プラネット 3」
(プレイステーション 3、Xbox 360、パソコン用)



「モンスターハンター フロンティア G2」
(パソコン、Xbox 360用)



●アミューズメント施設部門

市場が停滞気味のもと、「地域一番店」を旗印に各種イベントの開催やキッズコーナーの設置など、趣向を凝らした地域密着型の集客展開によりコアユーザーの獲得、リピーターの確保やファミリー層の取り込みを図るなど、広範な客層の囲い込みや需要の掘り起こしに努めてまいりました。

しかしながら、けん引機種不足や競合娯楽との競争激化に加え、天候不順も重なって客足が伸び悩みました。

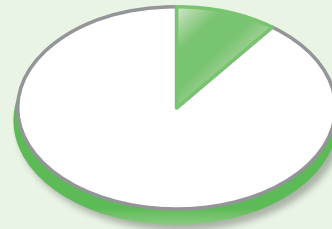
当期は、静岡市に「マークイズ静岡店」を出店しましたので、当該期末の施設数は35店舗となっております。

この結果、売上高は54億61百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益9億75百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

売上高構成比

平成25年9月期

10.3%



●アミューズメント機器部門

パチスロ機事業は、9月に発売した「デビル メイ クライ4」が予想を上回る売行きにより、販売拡大のけん引役を果たすとともに、収益を押し上げました。

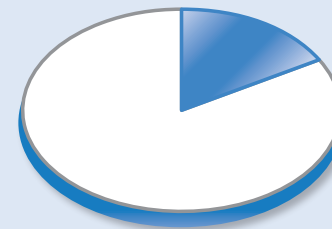
また、業務用機器事業につきましては、新型メダルゲーム機「マリオパーティ ふしぎのコロコロキャッチャー2」が堅調に推移したほか、「モンハン日記 プリプリプーギーレース」を投入いたしました。

この結果、売上高は89億21百万円(前年同期比148.2%増)、営業利益25億19百万円(前年同期比88.5%増)となりました。

売上高構成比

平成25年9月期

16.8%



●その他部門

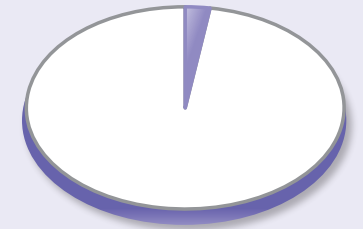
主なものはゲームガイドブック等の出版やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は13億41百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益5億18百万円(前年同期比4.2%増)となりました。



売上高構成比

平成25年9月期

2.5%



「マークイズ静岡店」



「デビル メイ クライ4」



「モンハン日記 プリプリプーギーレース」

©CAPCOM CO., LTD. 2013 ALL RIGHTS RESERVED.
©CAPCOM CO., LTD. 2012, 2013 ALL RIGHTS RESERVED.
©CAPCOM CO., LTD. 2007, 2013 ALL RIGHTS RESERVED.
©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別			科目	期別		
	当中間期 (平成25年9月30日現在)	前中間期 (平成24年9月30日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)		当中間期 (平成25年9月30日現在)	前中間期 (平成24年9月30日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)
【資産の部】				【負債の部】			
流動資産	75,019	79,788	76,841	流動負債	30,580	34,324	31,905
現金および預金	30,407	26,131	31,522	支払手形および買掛金	3,199	9,829	6,304
受取手形および売掛金	19,901	15,706	11,687	電子記録債務	3,448	—	634
商品および製品	1,720	3,169	1,756	短期借入金	11,152	11,546	11,194
仕掛品	600	922	906	未払法人税等	683	1,097	2,111
原材料および貯蔵品	1,009	2,478	1,592	賞与引当金	206	206	1,679
ゲームソフト仕掛品	13,693	23,922	18,888	返品調整引当金	93	116	187
その他	7,746	7,518	10,552	その他	11,797	11,528	9,793
貸倒引当金	△59	△60	△64	固定負債	9,718	9,618	9,630
固定資産	30,475	25,102	27,523	長期借入金	6,000	6,002	6,000
有形固定資産	13,547	12,484	13,258	退職給付引当金	1,789	1,603	1,697
無形固定資産	10,556	6,081	7,909	その他	1,928	2,012	1,932
のれん	137	220	200	負債合計	40,299	43,943	41,536
その他	10,419	5,861	7,709	【純資産の部】			
投資その他の資産	6,372	6,536	6,355	株主資本	67,945	68,734	66,718
その他	6,450	6,811	6,433	資本金	33,239	33,239	33,239
貸倒引当金	△78	△275	△78	資本剰余金	21,328	21,328	21,328
資産合計	105,495	104,891	104,365	利益剰余金	31,509	30,013	27,998
				自己株式	△18,132	△15,847	△15,848
				その他の包括利益累計額	△2,748	△7,786	△3,889
				その他有価証券評価差額金	146	△71	91
				為替換算調整勘定	△2,895	△7,714	△3,981
				純資産合計	65,196	60,948	62,828
				負債純資産合計	105,495	104,891	104,365

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別		
	当中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前中間期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売上高	53,234	45,538	94,075
売上原価	35,781	28,079	61,911
売上総利益	17,452	17,458	32,163
返品調整引当金戻入額	94	1	—
返品調整引当金繰入額	—	—	69
差引売上総利益	17,547	17,460	32,094
販売費および一般管理費	10,038	10,945	21,942
営業利益	7,509	6,515	10,151
営業外収益	786	125	1,105
受取利息	45	40	92
受取配当金	5	4	9
受取補償金	210	—	—
為替差益	387	—	745
その他	137	80	257
営業外費用	105	565	312
支払利息	59	50	107
為替差損	—	459	—
支払手数料	28	29	60
その他	17	26	144
経常利益	8,190	6,076	10,944
特別損失	388	28	7,224
固定資産除売却損	78	28	216
減損損失	—	—	58
事業構造改善費用	310	—	6,949
税金等調整前中間(当期)純利益	7,801	6,047	3,719
法人税等	2,850	1,922	746
法人税、住民税および事業税	541	1,205	2,968
法人税等調整額	2,309	717	△2,222
少数株主損益調整前中間(当期)純利益	4,950	4,125	2,973
中間(当期)純利益	4,950	4,125	2,973

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別		
	当中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前中間期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,802	1,740	6,647
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,710	△1,586	△1,375
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,952	2,542	1,162
現金および現金同等物 に係る換算差額	1,323	△1,180	2,800
現金および現金同等物 の増減額	△4,536	1,515	9,235
現金および現金同等物 の期首残高	31,522	22,287	22,287
現金および現金同等物 の中間期末(期末)残高	26,985	23,803	31,522



表紙の説明
「逆転裁判5」
(ニンテンドー3DS用)

人気の法廷バトル「逆転裁判」シリーズの最新作が、ニンテンドー3DSで登場!! 法曹界を舞台に、弁護に挑む主人公が2人の部下とともに真実を明かしていくゲームです。ミステリーの謎解きとサプライズの面白さは変わることなく、ストーリーを演出する新たな要素が加わったことにより、幅広い年齢層の注目を集め、「日本ゲーム大賞2012」の「フューチャー部門」を受賞しました。

会社の概要 (平成25年9月30日現在)

社名 **株式会社カプコン**
(CAPCOM CO., LTD.)
設立 昭和54年5月30日
主要な事業内容 家庭用テレビゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営
資本金 332億39百万円
従業員数 連結2,602名(単体1,944名)
ホームページ <http://www.capcom.co.jp/>

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 67,723,244株
- 株主数 18,057名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社クロスロード	5,276	9.38
ザチーフマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	4,423	7.87
818517ナムラルクスマルチカレンジエイビストリッド	2,705	4.81
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505223	2,576	4.58
辻本憲三	2,008	3.57
辻本美佐子	1,964	3.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,819	3.24
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,818	3.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,740	3.09
辻本美之	1,669	2.97

(注)持株比率については、自己株式数(11,488千株)を控除して算出しております。

取締役および監査役 (平成25年9月30日現在)


代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	辻本憲三
代表取締役社長 最高執行責任者(COO)	辻本春弘
取締役副社長執行役員 最高財務責任者(CFO)	小田民雄
取締役専務執行役員	阿部和彦
取締役専務執行役員	山下佳文
取締役専務執行役員	一井克彦
取締役専務執行役員	江川陽一
取締役	保田博
取締役	松尾真
取締役	守永孝之
監査役(常勤)	平尾一氏
監査役(常勤)	岩崎吉彦
監査役	家近正直
監査役	松崎彬彦

(注) 1. 取締役 保田 博、松尾 真および守永孝之の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 岩崎吉彦および松崎彬彦の両氏は、社外監査役であります。
3. 取締役 保田 博および守永孝之の両氏につきましては、株式会社東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

カプコンIRサイトのご案内 <http://www.capcom.co.jp/ir>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者へのインタビューやアナリストコンセンサスなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて評価機関より高い評価をいただいております。



Gomez IRサイト
総合ランキング
金賞
2013年3月



最新情報
いま注目すべきIR情報を中央に表示していることに加え、新着情報やプレスリリースなどの最新情報を素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。


ソーシャルメディア CAPCOM IR 公式アカウント
TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを通じてプレスリリースや新聞・テレビでのメディア掲載情報などを発信しております。

個人投資家の皆様へ
当社をより深くご理解いただけるよう、「カプコンの強み」や「事業内容」などをわかりやすくご説明しております。

IRアプリ「カプコンIR for iOS」
最新リリースや決算情報などのIR情報をお届けするiPhone向けアプリケーションです。資料の閲覧や保存ができるほか、IRイベントのスケジュール登録などが簡単な画面操作でご利用いただけます。

携帯・スマートフォンからもIR情報へアクセス

当社の業績概要や株式情報が携帯電話やスマートフォンからも閲覧できます。スマートフォンからは上記IRサイトに直接アクセスしてご覧いただけます。携帯電話は、右のQRコードを読み取るか次のURLよりご覧ください。
<http://2mobile.jp/9697>
※読み取り方法については、お手持ちの携帯電話取扱説明書をご覧ください。



『アニュアルレポート 2013』発行
経営トップ自らが、中長期課題に対する具体的施策をQ&A方式にて明快に解説しております。また、今後の事業戦略について、成長分野であるオンライン事業への取り組みや強みであるワンコンテンツ・マルチユース展開の更なる強化など、安定成長に向けた様々な取り組みを詳解しており、投資家の皆様により理解を深めていただくため内容の充実を図っております。ご希望の方は、当社広報IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。
株式会社カプコン 広報IR室 電話06-6920-3623

財務ハイライト
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報
会社データ

●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金受領株主日 3月31日

中間配当金受領株主日 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話(通話料無料)0120-094-777

公告方法 電子公告

当社のホームページ(<http://www.capcom.co.jp/>)に掲載します。

ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。